

1 『尿沈渣の精度管理』～その1～

2  
3 ○安藤 正, 菅野良則, 多田隆宏, 内海 寛, 茂木雅史,  
4 中野端秋 (東邦大学医療センター佐倉病院 MCM 検査  
5 室) 渡邊 仁 (同臨床検査部)

6  
7 【はじめに】正確なデータを臨床側へ返すために精度  
8 管理は必須である。分析機器、試薬の保守管理、コ  
9 ントロール測定、温度、湿度、室温、動作音までも細かく  
10 チェックされている。しかし、尿沈渣の精度管理につい  
11 ては、顕微鏡の保守管理はされているが、観察する  
12 技師の精度管理はきちんとされていないのではない  
13 だろうか。観察力のチェックにフォーバイを用いる事があ  
14 るが、日臨技、千臨技など技師会主催のフォーバイは年1  
15 回なので日常の精度管理には適さない。都臨技HP  
16 上で公開されている一般検査研究班のフォーバイは、  
17 頻繁に更新されているがすべての技師が参加してい  
18 る訳ではない。各施設で手軽に実践できる良い方法  
19 がないのが現状ではないかと思う。当院検査部では、  
20 2008年4月より毎月フォーバイを実施している。導入  
21 後、スタッフの観察力向上に寄与できたので、考察を加  
22 えて実施状況を報告する。

23 【方法】顕微鏡写真をPower Pointにてスライド化し、  
24 問題を毎月20問作成する。ルチンで使用しているパ  
25 ッコン上に公開し、空いている時間に自由に閲覧しても  
26 らう。月末締め切りとし、解答用紙に記入して提出  
27 するか、解答用ファイルを入力してもらおう。USBメモリー等  
28 にコピーして自宅での閲覧も可能である。Power  
29 Pointがインストールされていないパソコン用にWord版も作  
30 成してある。解答には個別に解説を付けて回答し、  
31 不正解だった設問は再度確認してもらおう。2ヵ月に  
32 1度、検査部内で勉強会を開催し、2回分の回答、  
33 解説、集計結果、不適当な解答、観察のポイント、注意  
34 点などをスタッフで確認している。

35  
36 連絡先 043-463-0361  
37  
38  
39